

日時：2025年2月1日（土） 電気ビルみらいホール

10:45～10:50 開会式

10:50～11:30 教育セッション

座長：中原 剛士（九州大学大学院医学研究院 皮膚科学分野）

**EDS** 新たなる航海に必要な海図とは？ アトピー性皮膚炎診療ガイドラインを考える

中山 健夫

京都大学大学院医学研究科  
社会健康医学系専攻健康情報学分野

共催：アッヴィ合同会社

11:50～12:40 ランチョンセミナー1

座長：加藤 則人（京都府立医科大学）

**LS1** AHR研究と創薬

辻 学

九州大学病院 皮膚科・油症ダイオキシン研究診療センター

共催：鳥居薬品株式会社

12:50～14:50 スポンサーシップシンポジウム1

アトピー性皮膚炎を取り囲む社会について

座長：秀 道広（広島市民病院）

加納 宏行（岐阜市民病院皮膚科）

片桐 一元（獨協医科大学埼玉医療センター皮膚科）

**SSY1-1** アトピー性皮膚炎と社会的ひきこもり：皮膚科治療での自信回復によるひきこもりからの回復

加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院 精神病態医学

**SSY1-2** 大きく変質しているSNS、アトピー性皮膚炎の情報共有に活用できるか？

堀向 健太

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 小児科

**SSY1-3 アトピー性皮膚炎治療の新時代に患者の立場から考えること**

丸山 恵理

認定NPO 法人日本アレルギー友の会

共催：大塚製薬株式会社

15:00～16:00 **一般演題 1**

座長：福本 毅（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野）

益田 浩司（京都府立医科大学医学研究科皮膚科学）

**O-001 幼少期にトラウマがあり近年大きな喪失体験があったアトピー性皮膚炎の1例**

清水 良輔

皮ふ科しみずクリニック

**O-002 外用療法によるタイトコントロールに対するサポートシステムの確立**

藤田 壮、鈴木 雄大、中元 健太、杉山 聖子、  
青山 裕美

川崎医科大学附属病院

**O-003 群馬県の小児アトピー性皮膚炎に対するデュピルマブの治療効果と安全性に関する多施設協力による検討**

内山 明彦、石川 真衣、小坂 啓寿、茂木精一郎

群馬大学医学部附属病院皮膚科

**O-004 基礎発汗と微細構造に着目した画像解析によるアトピー性皮膚炎のあたらしいバイオマーカー**

中元 健太<sup>1)</sup>、馬屋原孝恒<sup>1)</sup>、杉山 聖子<sup>1)</sup>、小出 哲士<sup>2)</sup>、  
青山 裕美<sup>1)</sup>

<sup>1)</sup>川崎医科大学皮膚科

<sup>2)</sup>広島大学半導体産業技術研究所

**O-005 ジファミラスト軟膏による皮膚バリア機能改善効果の検討**

小坂 啓寿、内山 明彦、Bayarmaa Taivanbat、茂木精一郎

群馬大学大学院医学系研究科皮膚科学

**O-006 白斑を合併したアトピー性皮膚炎の現在、今後の治療に関する検討**

片山 一郎

中津皮フ科クリニック

16:10～17:00 **スイーツセミナー**

**サイトカインから考える外用療法とIL-13製剤**

座長：井川 健（獨協医科大学医学部 皮膚科学講座）

中村晃一郎（埼玉医科大学病院 皮膚科）

**SW-1**      **どこまで外用で治療するのか？  
～全身療法選択と移行のタイミング～**

金子 栄

益田赤十字病院皮膚科

**SW-2**      **IL-4, IL-13, IL-31の違いについて考える  
～それぞれの特性と治療でみてきたもの～**

山村 和彦

九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野

共催：レオ ファーマ株式会社

17:10～18:00 **イブニングセミナー**

**アトピー性皮膚炎患者の疾病負荷に対して目指すべき治療 Goalとは  
～サイバインコの有用性～**      ※適応症：既存治療で効果不十分なアトピー性皮膚炎

座長：佐伯 秀久（日本医科大学大学院医学研究科 皮膚粘膜病態学分野）

**ES-1**      **アトピー性皮膚炎の治療の中心は外用薬、どのタイミングで全身療法薬を追加するか？**

田中 暁生

広島大学大学院医系科学研究科 皮膚科学

座長：常深祐一郎（埼玉医科大学 皮膚科）

**ES-2**      **JAK阻害薬を安全に使用するために  
宮垣 朝光**

聖マリアンナ医科大学 皮膚科学

共催：ファイザー株式会社

司会：中原 剛士（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野）  
辻 学（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野）

パネリスト：

井川 健（獨協医科大学医学部 皮膚科学講座）

片岡 葉子（大阪はびきの医療センター）

金子 栄（益田赤十字病院 皮膚科）

加納 宏行（岐阜市民病院 皮膚科）

澄川 靖之（医療法人社団北燈会すみかわ皮膚科アレルギークリニック）

波多野 豊（大分大学医学部 皮膚科学講座）

福本 毅（神戸大学大学院医学研究科 内科系講座皮膚科学分野）

9:00～9:50 モーニングセミナー

座長：澄川 靖之（すみかわ皮膚科アレルギークリニック）

**MS-1** アトピー性皮膚炎病態理解 Up date

本田 哲也

浜松医科大学皮膚科学講座

座長：川崎 洋（理化学研究所生命医科学研究センター免疫器官形成研究  
チーム慶応義塾大学医学部皮膚科学教室）

**MS-2** アトピー性皮膚炎治療 Up date

天野 博雄

岩手医科大学医学部皮膚科学講座

共催：日本イーライリリー株式会社

10:00～10:40 特別講演

座長：中原 剛士（九州大学大学院医学研究院皮膚科学分野）

**SL** 臨床研究で大事な事

今福 信一

福岡大学医学部 皮膚科学教室

10:45～11:45 一般演題2

座長：浅井 俊弥（浅井皮膚科クリニック）

上出 良一（ひふのクリニック人形町）

**O-007** アトピー性皮膚炎の全身治療による皮膚真菌叢変化

小池 雄太<sup>1,2)</sup>、森寄 仁美<sup>1)</sup>、元岡 大佑<sup>3)</sup>、松本 舞<sup>1)</sup>、  
竹中 基<sup>1)</sup>、室田 浩之<sup>1,2)</sup>

<sup>1)</sup>長崎大学病院 皮膚科・アレルギー科

<sup>2)</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 ライフサイエンス・イノベーション研究ユニット

<sup>3)</sup>大阪大学 微生物病研究所 遺伝情報実験センター ゲノム解析室

**O-008** 症状の増悪時に多数の毛包虫を検出した酒さの3例

木村 優香、佐藤 佳代、宇田 絵美、長塚 由美、  
片岡 葉子

大阪はびきの医療センター 皮膚科

- O-009** 慢性皮膚疾患に伴う動脈硬化症と全身性アミロイドーシス  
-IL-17A 及び IL-17F の関与 -  
中西丈比佐<sup>1,2)</sup>、飯田 祥平<sup>1)</sup>、山中 恵一<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 三重大学医学部皮膚科  
<sup>2)</sup> 市立四日市病院皮膚科
- O-010** セザリ－症候群に対し骨髄移植した後も遷延するアトピー性皮膚炎  
—合併する長島型掌蹠角化症が関与？—  
梅本 尚可、木村 俊一<sup>2)</sup>、小宮根真弓<sup>3)</sup>、出光 俊郎<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 自治医科大学附属さいたま医療センター皮膚科  
<sup>2)</sup> 自治医科大学附属さいたま医療センター血液内科  
<sup>3)</sup> 自治医科大学皮膚科
- O-011** 古典的ホジキンリンパ腫に先行してみられたアトピー性皮膚炎  
様皮疹の1例  
広瀬 晴奈<sup>1)</sup>、坊地 実<sup>1)</sup>、梅木真由子<sup>1)</sup>、吉田 匡貴<sup>2)</sup>、  
岩永 愛実<sup>2)</sup>、小山 雄三<sup>3)</sup>、西田 陽登<sup>3)</sup>、波多野 豊<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 大分大学医学部皮膚科  
<sup>2)</sup> 大分大学医学部腫瘍・血液内科  
<sup>3)</sup> 大分大学医学部診断病理学講座
- O-012** JAK 阻害薬治療中に primary cutaneous anaplastic large cell  
lymphoma を発症したアトピー性皮膚炎の1例  
中島 真帆、竹中 基、室田 浩之  
長崎大学病院皮膚科・アレルギー科

11:55 ~ 12:45 ランチョンセミナー2

掻破から診る病態の深層 - かゆみ治療を再考する

座長：石氏 陽三 (東京慈恵会医科大学 皮膚科学講座)

片山 一郎 (大阪公立大学 / 大阪大学)

**LS2-1** 痒みを視ると診療が変わる: 患・医ギャップを考える

杉山 晃子

独立行政法人国立病院機構福岡病院 アレルギー科 /

福岡病院アレルギーセンター

**LS2-2** アトピー性皮膚炎の痒み：病態と治療のアップデート

室田 浩之

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 皮膚病態学分野

共催：マルホ株式会社

**アトピー性皮膚炎における“寛解”を考える**

座長：片岡 葉子 (大阪はびきの医療センター)  
中原 剛士 (九州大学大学院医学研究院 皮膚科学分野)

**SSY2-1 医師評価/患者評価から考える：目指すべき寛解状態とは**

小澤 麻紀  
東照宮駅前皮ふ科クリニック/東北大学皮膚科

**SSY2-2 アトピー性皮膚炎治療における炎症把握の重要性  
～長期寛解維持を目指すために～**

山中 恵一  
三重大学大学院医学系研究科 皮膚科学教室

**SSY2-3 皮膚構造から考える：目指すべき寛解状態とは**

波多野 豊  
大分大学医学部 皮膚科学講座  
共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

座長：川崎 洋 (理化学研究所 生命医科学研究センター  
免疫器官形成研究チーム)  
羽白 誠 (はしろクリニック)

**O-013 ネモリズマブ投与により浮腫性紅斑を生じたアトピー性皮膚炎  
の2例**

荒川 伸之、鎌田 啓文、丹治 峻之、天野 博雄  
岩手医科大学医学部

**O-014 皮膚科入院時に化膿性脊椎炎・腸腰筋膿瘍の合併が判明した最  
重症アトピー性皮膚炎の1例**

宇田 絵美、佐藤 佳代、長塚 由美、木村 優香、  
片岡 葉子  
大阪はびきの医療センター

- O-015** 特異な臨床像をとり、ナローバンドUVB照射が有効であった内因性アトピー性皮膚炎の1例  
伊藤恵里花<sup>1)</sup>、高橋 隼也<sup>1)</sup>、天貝 諒<sup>1)</sup>、天貝まゆ子<sup>1)</sup>、  
千葉 倫子<sup>1)</sup>、小澤 麻紀<sup>1,2)</sup>、浅野 善英<sup>1)</sup>  
<sup>1)</sup> 東北大学病院皮膚科  
<sup>2)</sup> 東照宮駅前皮膚科クリニック
- O-016** 教育入院・既存治療薬によるタイトコントロールによって良好な経過をとった成人重症アトピー性皮膚炎の1例  
佐藤 佳代、宇田 絵美、長塚 由美、木村 優香、  
片岡 葉子  
大阪はびきの医療センター 皮膚科
- O-017** 特発性全身性無汗症 (AIGA) の合併が疑われたが教育入院だけで軽快したアトピー性皮膚炎の1例  
平塚進太郎、野老 翔雲、林 周次郎、井川 健  
獨協医科大学皮膚科学講座
- O-018** デュークラバシチニブがアトピー性皮膚炎と乾癬の双方に奏功した一例  
石倉 侑、隈 有希、冬野 洋子、山村 和彦、  
辻 学、中原 剛士  
九州大学病院
- O-019** JAK阻害薬投与後に肺結核を発症したアトピー性皮膚炎の1例  
澄川 靖之  
すみかわ皮膚科アレルギークリニック

16:00 ~ 16:10 閉会式